わたしの妹

三樹燈

わたしの妹は障害を持っています。重度の発達障害です。

重度発達障害とは、言語や数、量、時間、金銭などの概念を理解することが難しく、広範囲にわたる支援が必要になり、食事や身じたく、入浴や排泄など、日常生活のすべての行動に援助が必要になることになります。

わたしは、妹に障害があることを聞いてびっくりしました。悲しかったです。妹が障害なく生まれてくればよかったのにと思った時もありましたが、妹が障害を持って生まれてこなければ、わたしは障害のことをまったく知りませんでした。デイサービスという所に妹は、通っています。もし、妹が障害持って生まれなかったらデイサービスも行っていませんでした。ときどき妹が笑います。それにつられてみんなが笑います。笑っている妹を見て、わたしも元気をもらっています。いつ

も妹は、元気よく遊びます。いつもボールで遊んでいます。妹は、笑いながらわたしにボールをあてます。別に怒ったりはしません。いたいけどめっちゃ楽しいです。そんな自由でたのしそうな妹が大好きです。今は、妹が障害を持って生まれてきてくれたおかげで、障害についても学べることもできるので楽しいです。そんな妹が生まれてきてくれてうれしい。ありがとう生まれてきてくれて。

みなさんも近くで、障害の人を見たらあたたかい目で見守ってください。これからもっともっと妹と仲直く楽しくしたいです。

20 × 20